

文旦ムキ通信

文旦好きがこうじて、ムキムキ報告！

●2025年5月発行 ●第18号(年3回更新) ●企画・制作・発行・デザイン／アトリエよくばり子リス
〒780-0301 高知市春野町弘岡1176-2 [携帯] 090-3784-3307 [e-mail] korisu@lime.ocn.ne.jp

2025.5

いよいよ珍な高島さん

2025年3月2日、土佐の「おきやく」2025のイベントとして、土佐文旦振興対策協議会主催「第15回 土佐ぶんたん祭」が開催されました。

高知県在住の土佐文旦アンバサダーは今回、東京文旦バスケットチームによる「文旦バスケット教室」のフォローで、私(松田雅子)と高島香里さんが参加。文旦ムキムキ隊のメンバーである西川綾さんが、記録係を頑張つてくれました。舞台の上で私は、高島さんと一緒に、楽しそう&嬉しそうな参加者の皆さんとの表情が印象的でした。

(*文旦バスケット教室の様子、コンテストの受賞作品は、次号7月発行の文旦ムキムキ通信でご紹介させていただきます)

1回目の教室が終了し、土佐のおきやく会場で買い出しをしてお昼をいただいている時のことでした。西込浩一会長が困り顔で席につかれ、おっしゃいました。

「土佐ぶんたんの歌を流しながら、巨大会場を一周して来んといかんがやけんど、僕今、首のヘルニアがね」。

その時でした「会長！」高島さんがすくと立ち上がり、「私が被ります！」と手を挙げたのです。

高島さんが土佐文旦アンバサダーになつたきっかけとなったのが、青山学院大学陸上部の選手達の胃袋を掴んだ



「土佐ぶんたんの歌」と共にこの姿で会場を行脚するいよいよ珍な高島さんの様子です。



一緒に歌って踊ってムキムキしよう！
【応援ソング】土佐ぶんたんの歌 配信中！



YouTube動画配信は
こちらから
ご覧になっていただけます。

土佐文旦振興対策協議会プレゼンツ
Music & Producer : KYN Vocal : SAYAKA Lyric : AYAKA & KYN Guitar : KYN

「第2回土佐市産業祭～再発見！土佐市自慢の宝物たち～」に参加させていただきました



土佐市の「複合文化施設つなーで」で行われた「第2回土佐市産業祭（主催／土佐市産業祭実行委員会）」。土佐文旦やうつぼなど、地元の美味しいものや、旬の特産品が大集合しました！ステージイベントでは、写真的土佐文旦シンポジウムの他にも、高知海洋高校ツナガールによるマグロの解体ショー＆ふるまいや、高岡中学校吹奏楽部による演奏なども行われ、たくさんのお客様で賑わっていました。

私たち文旦ムキムキ隊も、この日は大忙し！絵本「とさぶんたんのぶんこちゃん」の販売＆ことこさんによるステージでの朗読。土佐文旦シンポジウムでは、日本全国の文旦類を集め、世界の文旦類までをも

引き出すお手伝いをさせていただきました。その後行われた「土佐文旦の早むき競争」は審査員の一人として再び登壇。佐木さんのお話を本当に面白くて、土屋・白木果樹園の熱いお話を会話形式で語りました。（撮影にきてくださっていたカメラマンさん他、知人も参加してくれました。）

引続きお手伝いをさせてくださいました。その後行われた「土佐文旦の早むき競争」は審査員の一人として再び登壇。佐木さんの歴史や種類など、ついついステー

ジにいることを忘れて質問してしまうほどでした。その後行われた「土佐文旦の早むき競争」は審査員の一人として再び登壇。佐木さんの歴史や種類など、ついついステー

ジにいることを忘れて質問してしまうほどでした。その後行われた「土佐文旦の早むき競争」は審査員の一人として再び登壇。佐木さんの歴史や種類など、ついついステー

ジにいることを忘れて質問してしまうほどでした。その後行われた「土佐文旦の早むき競争」は審査員の一人として再び登壇。佐木さんの歴史や種類など、ついついステー

ジにいることを忘れて質問してしまうほどでした。その後行われた「土佐文旦の早むき競争」は審査員の一人として再び登壇。佐木さんの歴史や種類など、ついついステー



撤収後、焼き菓子まみゆさんの「はりまや文旦 de シュー」に、ムキムキ文旦を突っ込ませてもらった「はりまや文旦 de シュー」を、桜満開のはりまや公園でいただきました。じんわりと疲れが取れていく美味しい！今期のムキムキイベントも、大変お世話になりました！



「はりまや文旦感謝祭」に感謝！
4月4日、今年もはりまや商店街で開催されている「金曜はりまや」と「みかん家にしごみさん」とタイアップさせていただき、「はりまや文旦感謝祭」を無事開催することができました。今年は、絵本「とさぶんたんのぶんこちゃん」としまんと新聞バッグ入りムキムキ文旦など新しい展開も！来期も進化しますぜよー！



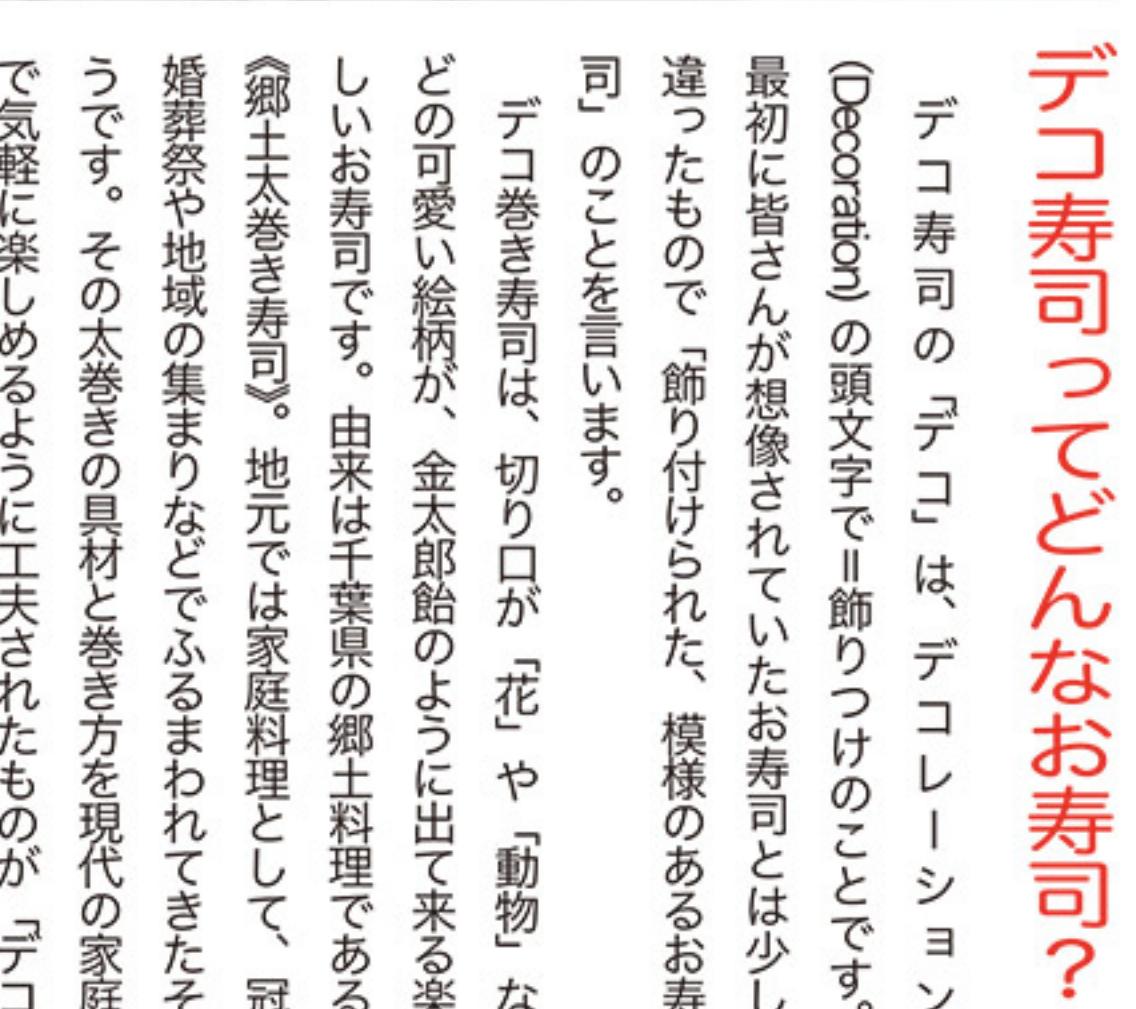
「酢みかん」とひとまとめにするもその種類はとても多く、香りや味の違いを感じ、見た事もない果実にも出会うことができ、個性あふれる酢みかんの魅力を感じました。またお目にかかりたいと思ひながらも、思う様に行動できない事に苛立つたりしていまましたが、夫の所用に同行し高知に居る時に偶然、JAファーマーズマーケットときのさとで開催されていた「とさのぶんたんカーニバル」の情報を知りました。急いで向かうも、到着したのが徹夜前！荷物の搬出が始まっていましたが（お目にかかるのは2回目なのに）随分前からお問い合わせいただきました。こちらで絵本を講じボストカードとエプロンを頂き、一緒に写真も撮って別れました。絵本やボストカードに描かれた三本桂子さんの絵にはつくりと癒され、デコ寿司にしました。イメージを頭の中でぐるぐる巡らせながら帰宅しました。考えはまとまらずともトライあるのみ！実の感じはどうだろう、表情はどんな？そもそもこんな事してかまんやろうか、などと思いながらも出来上がったデコ寿司の写真を松田さんに送信しました。有難いメッセージと共に松田さんの笑顔も拝見できました。気分がよみました。

最後に文旦生産者のみなさまの日々の「辰巳」と文旦アンバサダーのみなさんの今後益々のご活躍と、土佐文旦の魅力が更に広がります様、祈念しています。

絵本が繋いでくださったご縁に感謝！

野梨のりこ

感激！香川県(高知県ご出身)の巻寿司大使・日本デコすし協会認定マイスター 野梨のりこさんが、絵本「とさぶんたんのぶんこちゃん」を デコ寿司にしてくださいました！



デコ寿司ってどんなお寿司？

デコ寿司の「デコ」は、デコレーション(Decoration)の頭文字で飾りつけのことです。最初に皆さんが想像されていたお寿司とは少し違ったもので「飾り付けられた、模様のあるお寿司」と言います。

デコ寿司は、切り口が「花」や「動物」などの可愛い絵柄が、金太郎飴のように出て来る楽しいお寿司です。由来は千葉県の郷土料理である「郷土大巻き寿司」。地元では家庭料理として「冠巻き寿司」として広まってきたのです。

デコ寿司は、切り口が「花」や「動物」などの可愛い絵柄が、金太郎飴のように出て来る楽しいお寿司です。由来は千葉県の郷土料理である「郷土大巻き寿司」。地元では家庭料理として「冠巻き寿司」として広まってきたのです。

「ぶんたん巻き寿司」のレシピを教えていただきました。

のりこさんにお願いしてまるごとぶんたんシロップを使った「ぶんたん巻き寿司」のレシピを教えていただきました。

土佐文旦
産直協同組合

〒781-1125 土佐市積善寺926

TEL 088-826-6777
FAX 088-826-6778
<http://buntan-sanyoku.jp>
info@buntan-sanyoku.jp

新発売

まるごと ぶんたん シロップ

360ml

土佐文旦産直協同組合
KOCHI TOSA

できあがり♡

できあがり♡

すし酢は「まるごとぶんたん」に塩を合わせました。
1合あたり40gのシロップに塩を少しづつ混ぜて
こんな感じかなあ？の味になりました。
ノリ1枚、すし飯-170g~200g、フルーツマト・
1個(くし形)に切ります、生ハム3~4枚、ムキムキ
文旦5~8個、アスパラガスは軽く塩茹でします。
*アスパラガスはスッペエンドウも良いと思います。
(材料を一旦マリネ液に漬けて文旦マリネにしてもどちらも美味しいです)

[材料・巻寿司1本分]